ウヨロ川周辺の田園景観を残そう

ウヨロ環境トラストだより

第48号
2013年1月1日発行
NPO法人ウヨロ環境トラスト
〒053-0018　苫小牧市旭町4-3-14
齊藤司法書士事務所気付
TEL (0144)36-5753(日中) 32-6727(夜間)
FAX (0144)32-6747
E-mail: trust@shiraoi.org

昨年の活動を振り返って

トラストに関係する皆さま、新年おめでとうございます。

例年新年号のトップに掲載している齊藤理事長の新年のご挨拶は、別紙として送らせていただきます。

ウヨロ環境トラストが2001年11月に任意団体として発足してから、12年目を迎えました。昨年１年間の動きの大きなものを次に紹介し、これらの中から今年の活動につなげていければと思います。

■森づくり活動の新たな展開

昨年発行した「放置人工林森林整備マニュアル」が、林業新知識（全国林業改良普及協会発行）という雑誌の４月号で記事として紹介され、本州の森林所有者からも問い合わせがきました。

この事業のもう一つの柱である間伐材の利用促進をはかるため、ログハウス活用研修会を１月から開始し、それ以前の研修会の様子などやマニュアルをまとめたパンフレット「ログハウス製作のスゝメ」を発行しました。この内容はホームページでも見ることができます。

また、きたネット等と共同してすすめてきた砂利採取跡地での植林地「ラブアースの森」のカラマツの自生苗が大きくなってきたため、子どもの自然体験活動として除間伐を開始しました。

また、故河野専務理事が残された10haの喜茂別山林をご遺族から寄贈を受けたので、札幌の団体等と共同して手入れを始めました。

■環境学習活動

ウヨロ川フットパスが、北海道新聞創刊７０周年の記念事業として実施された「ほっかいどう　１００の道」に選定されました。

また、４年目を迎えたウヨロ川のサケ保全活動が北海道 e-水プロジェクト助成金の採択を受けました。これまでのサケ調査のほか、北大水産学部帰山教授他を招いた講演会なども実施しました。

■その他のトピックス

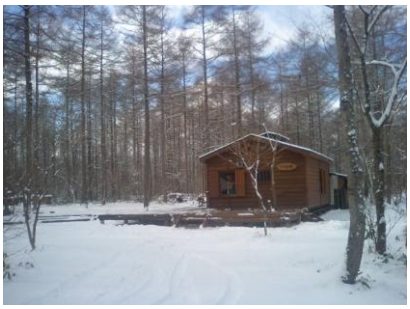
今年は、他団体などとのネットワークが拡大した年でもありました。きたネットの10周年のフォーラムでトラストの森づくり活動について事例発表したほか、旭川の緑の探検隊の森づくりについてアドバイスなどを行っています。また、12月にはサケ調査などで札幌の若者グループを受入れしており、来年につながることが期待できます。

会の行事で宿泊や温泉入浴ができる温泉別荘の利用権を取得しました。1月6日のたき火開きの後や、26日の新年会で温泉別荘を使いますので、ぜひ参加下さい。

昨年はログハウスとサケ保全活動の２つの新たなホームページができました。また、会のホームページのトップページのリニューアルに現在取り組んでいます。

会員数45人（正会員35人、準会員8人、賛助会員2人）　1月1日現在

創立12年目の新年を迎えて
明けましておめでとうございます


冬のトラストの森

「たき火開き」（たき火の会共催）

新年恒例のたき火開きを行います。会員のほか、トラストとつながりのある方、たき火の好きな方など多くの人の新年の交流の場です。
希望者は、午後温泉入浴可能。

日時　1月6日（日）10～13時
場所　トラストの森
内容　森の掃除、火おこし、「森を語る」集い
会費　５００円（昼食代）
申込　**1月3日(木)まで、メールか電話で申込み下さい。**
電話は、たき火の会(中野)
0144-82-3598（留守電可）
メール　trust@shiraoi.org

行事案内（１月～３月）

■１月６日（日）　10:00～13:00　ﾄﾗｽﾄの森
たき火開き　森の掃除、「森を語る」集い　他

■１月１３日（日）　9:00～15:00
例　会　ﾄﾗｽﾄの森　環境整備、間伐

■１月２６日(土)　**新年交流会**　北吉原温泉別荘
14:00～17:00　活動発表会(ｻｹ保全活動等)
18:00～20:00　懇親会（宿泊も可能）
会費　2,500 円　　宿泊する方は 500 円追加
申込　１月 23 日(水)までﾒｰﾙか電話で
ﾒｰﾙ trust@shiraoi.org TEL 0144-36-5753(齊藤)

■２月１０日（日）　9:00～15:30　ﾄﾗｽﾄの森
冬のデイ･キャンプ(小中学生対象)
運営ボランティア募集（事務局まで連絡下さい）

■２月１７日（日）　9:00～15:00
例　会　ﾄﾗｽﾄの森　環境整備、間伐

■３月１７日（日）　9:00～15:00
例　会　ﾄﾗｽﾄの森　環境整備、間伐

2012 年のサケ保全活動

別紙で、昨年のウヨロ川サケ保全活動のホームページの一部を付けています。

このホームページは、北海道 e-水プロジェクトの助成により９月から１１月まで実施した講演会、サケ調査方法研修会、１０月サケ調査、サケ遡上観察会やサケ調査の結果などを紹介したものです。

また、イラストレーターの新岡薫さんが、坂本理事のガイドでサケの遡上の様子を取材し、楽しい絵と文のページにまとめてくれました。

１２月は助成対象期間外でしたが、例年どおり２回目のサケ調査を行っており、今年は多くの学生が参加してくれました。

e-水プロジェクトで実施した行事や調査結果は、下記のＷＥＢで公開していますので、インターネットを使える方は、ぜひご覧ください。

ウヨロ川サケ保全活動 2012
http://www.shiraoi.org/trust/salmon/e-mizu 2012

喜茂別山林の森づくり活動

昨年１０月と１１月の２回にわたり、故河野専務理事が残された喜茂別山林の森づくり活動を行いましたので、その内容を紹介します。

森づくり現地体験会　10 月 14 日（日）

時　間：9:00～15:30　　天　候：晴れ
講　師：濱田理事
参加者：トラスト８名、一般４名の計 12 名
作業内容：山林の外周確認作業、毎木調査作業、
枝打ち作業、外周草刈作業

森づくり講座（第１回）　11 月 11 日（日）

時　間：9:00～15:30　　天　候：晴れ
講　師：濱田理事
参加者：トラスト６名、一般７名の計 13 名
作業内容：間伐木の選定作業、間伐作業、枝打作業

2012年写真で見るウヨロ環境トラストの活動と周辺の自然

●2/12 冬のデイキャンプ(かまくら作り)

●今年はコミヤマカタバミ(小深山傍食)が沢山咲いた。森の手入れすると林床が楽しくなる。

●6/17 春のデイキャンプ　低学年の参加が多い傾向

●フットパスは少人数で利用する方がジワッと増えた?今年は利用者と交流する機会が増えれば…

●8/3～5　夏のエコキャンプ(ウヨロ川)

●毎月ログ活用研修会が行われ、森の入口に門が完成

●12/14、15 ウヨロ川のサケの調査
札幌の若者の協力も得て行われた。

●12/18　エゾリスが小屋の周辺で生活しているようだ。

室蘭民報
2012年(平成24年)12月21日(金曜日)

ログハウス製作工程紹介

ウヨロ環境トラスト パンフ作成

白老

白老のNPO法人ウヨロ環境トラスト（齊藤春生理事長）は、間伐材活用の普及パンフレット「ログハウス製作ノスゝメ」（A4判、19ページ）を作成した。一昨年から開催しているログハウス製作研修会の様子、工程などをイラストや写真を多用し紹介している。

白老町石山のトラストの森を会場に、一昨年からログハウス研修会を開催、研修生の手によってログハウス1棟が完成した。「ログ（丸太）活用の楽しみを多くの人に知ってもらいたい」と作成したパンフレットは、研修会で用いた製作マニュアルを紹介。製作工程やログを活用した建物の紹介などを盛り込んだ。

プロのイラストレーターがログハウス製作研修会の様子を取材、丸太を切る・削る、木を組む工程をイラストにしたほか、研修生や指導者の似顔絵にコメントを添えた。10ページを割いた「製作マニュアル」は、ログ材の皮むきから組み上げ、塗装までを図入りで解説している。

2千部印刷、問い合わせは齊藤理事長、電話0144・36局5753番。開催中の「ログ（丸太）活用研修会」の問い合わせは吉川さん、電話080・4508・3388番。

（富士雄志）

ログハウス製作工程などを紹介しているパンフレット

ログハウス製作のパンフレットが新聞で取り上げられました

昨年印刷した「ログハウス製作ノスゝメ」は、研修会で活用したマニュアルを中心に、ログハウス製作過程やログを活用した建物の紹介なども盛り込んだパンフレットとして発行したものです。

この度、室蘭民報の記事で紹介いただきました。ログ活用研修会を毎月行っていますので、参加希望者は担当の吉川さんに連絡下さい。

COOPさっぽろの広報誌「ちょこっと」の取材を受けました

昨年10月末、COOP さっぽろの広報誌に掲載するため、トラストの森の取材を受けました。

その取材をもとに、同封の「ちょこっと」1月号の記事の森カフェで、濱田理事がマスターとして紹介されております。ぜひ、ご覧下さい。

理事長からの新年のご挨拶

トラストのみなさま新年おめでとうございます。

長く続いた暑さのあとは早すぎる大雪と寒さ異常気象の年が過ぎましたが、今年はどんな年となるのでしょうか。北極、南極の氷が解けはじめホッキョクグマの生存が危うくなるという生物学者の警告をよそに、地球上の国々は、依然として戦いの火種ともいえる力の誇示に専念、それに呼応するかのように軍部と当時の政府の暴挙ともいえる戦争に国民を巻き込んだ事実を、子供たちに教えることも反省もなく憲法改正を強調する声が大きくなり、戦争中小４の時、飛行機の燃料を採ると山に行き、松葉採集と称し松の枝を背負わされ校庭に運んだ私には心の休まらない時代になってきました。

地域の自然環境（海・山・野・川をめぐる動植物）との共生をもとめ活動している私たちトラストの活動がいっそう大事になってくるのではないかと思います。

トラストを結成して１２年目に入る今年、ここで、これまでトラストが歩んできた過程を振り返ってみたいと思います。設立当初の数年は、今のトラストの奥に残してある当時のままの手つかずの暗い林同様だった林を間伐し、みんなが集う小屋と東屋を手始めに、順次、食器類の小屋、機械器具小屋次いでツリーテラスを作り薪小屋からウヨロドームまで活動の礎となる建物や工作物作りに精を出し、ついで次の段階としてトラスト地周辺、白老町内の未整備の森林の広範囲な除間伐などトラストの目的のひとつである森づくり活動に専念し、道内はもちろん国内にも例を見ないボランティアによる森づくりの成果を挙げて、特定非営利活動法人ウヨロ環境トラストは広く国内でも名を知られるようになりました。しかし、その陰で、森づくりに熱中するあまり、このような重労働にむかない会員を排除する言動で会員が近寄りにくいトラストとにしてしまったことは否めません。そして、人命をも縮める結果となりトラストにとって大きな教訓を残したと思います。

これからトラストは何をすべきか、地道な調査を続けている野生サケの調査継続と河野、小野寺兄妹（もともと河野　功さん一人のものではありません。）から贈与を受けた喜茂別の山の管理は、指導者である濵田さんから若い世代へ技術を伝えてもらう大切な機会と考えますが、これらに参加できない会員も創設当時の原点に戻ってトラスト地内で、できるだけ多くの人が楽しめるような活動を考えてはと思います。

無力な私ですが、このトラストの森を会員のみなさんから預かっていると考えているので、研修会のパンフレットの内容で外部の編集者が面白そうに会員以外の多くの人の気を引くような表現にもクレームをつけ、担当理事の顰蹙を買っていますが、時間があり自由の利く外部の人間からトラストの森という会員全体の財産をわが物のように勝手にさせてはならないと考えているからです。

トラストでシイタケがたくさん採れたとき、いまここにもっと多くの会員が参加してくれていれば、この味を多くの会員や家族に味わってもらえるのに残念だなと思う

のです。シイタケのほかにナメコも多くはありませんが年に一度くらいは採れるのです。

私個人は、この森にきて薪を割ったり片づけたり、ここで、作業をし一日を過ごすことで日頃得られない空気を存分に吸って活力を頂いて帰ります。香りのよい薪の切れ端を持ち帰って居間に置きその香りを楽しみます。夜、理事会のためにいきいき・４・６にきて遅くまでいろいろと協議し帰るのは疲れるだけです。

この森になじむことで、それぞれが自分なりの独自の楽しみ方を探し求めることができるように思います。

昨年、トラストは、個人の所有する温泉別荘の管理利用会員として一口加入する契約の予約をしました。詳細は所有者と他の会員との協議が詰まっていないのでまだ書面にしてお渡しすることが遅れていますが、近くお届けできるかと考えています。

ただトラストとして利用することはできますので、１月からは、例会の都度作業を早めに切り上げて、参加会員の皆さんとこの「木根頭実荘」の温泉に入浴し、作業の疲れを取り除いてから散会してはどうかと考えています。１回１人２００円の協力金を負担することになっていますが、ポロトの浴槽ぐらいの広さで常時熱い温泉が出ています。一度現地で体験していただければと思います。

それと、例会の集合時間です。車のない私はこの十数年間、苫小牧発１０時０８分の列車に乗り、白老駅からタクシーでトラストの森まで通っています。私のように公的交通機関しか利用できない会員の方で、参加したいと考えてもこの時間設定に断念し、来られずにいる人がおられるかもしれませんが、目的は参加すること集うことではないかと長年ここに通う私は思っています。

どうぞ、今年は私と一緒に参加なさってみませんか。

設立当初、出資したみんながそれぞれに、ここは、自分たちの山だといろいろな夢を持っていました。

はたして、現況は会員のひとりひとりみんなが楽しいと感じられる森になっているでしょうか。

トラスト地内には多くの建物もできました。できれば、これらを使って会員同士が親子で家族で楽しみを共有する企画ができないものかと思うのです。

トラストは歩みを止めることはできません。１００年後この森を次の世に渡すことを目指して、いつの時代も第三者ばかりでなく主体である会員のいこい、いやし、楽しみの森でありつづけることにこの森の存在価値があるのではないでしょうか。

この森はみんなの財産なのです。初心に返りみんなで楽しみましょう。

２０１３年1月　　理事長　齊　藤　春　生

2013年1月1日

ウヨロ環境トラスト会員
ウヨロ環境トラストに関係する皆様　　各位
ログ活用研修会受講者

NPO法人ウヨロ環境トラスト
理事長　齊 藤 春 生

新年会及び活動発表会の開催について（案内）

新たな2013年を迎え、会員やトラストと関係する皆様の交流と懇親を深めるため、下記とおり新年会を開催いたします。

また、多くの方が集まる機会ですので、トラスト及び会員の活動を知っていただくため、新年会に合わせて活動発表会を行います。

それぞれ個別の参加も可能ですので、ご出席いただきたく案内いたします。

記

1　日　時　　1月26日（土）

（1）活動発表会　14：00～17：00

①ウヨロ川における2012年の野生サケ保全活動　　発表者未定
②素人のウヨロ川観察記（2012年11月室工大発表）　坂本理事
③トラストの森づくり活動のこれまで　　辻常務理事
④意見交換（発表内容の質疑、今後のトラストの取組み等）

（2）新年会　18：00～20：30

※翌日の1月27日（日）は、ログ活用研修会がトラストの森でありますが、見学できます。

2　場　所　　白老町字北吉原668番地　温泉別荘　木根頭実の家
（裏面の地図を参考にして下さい。Google Map使える方は、上記の地番で検索下さい。）

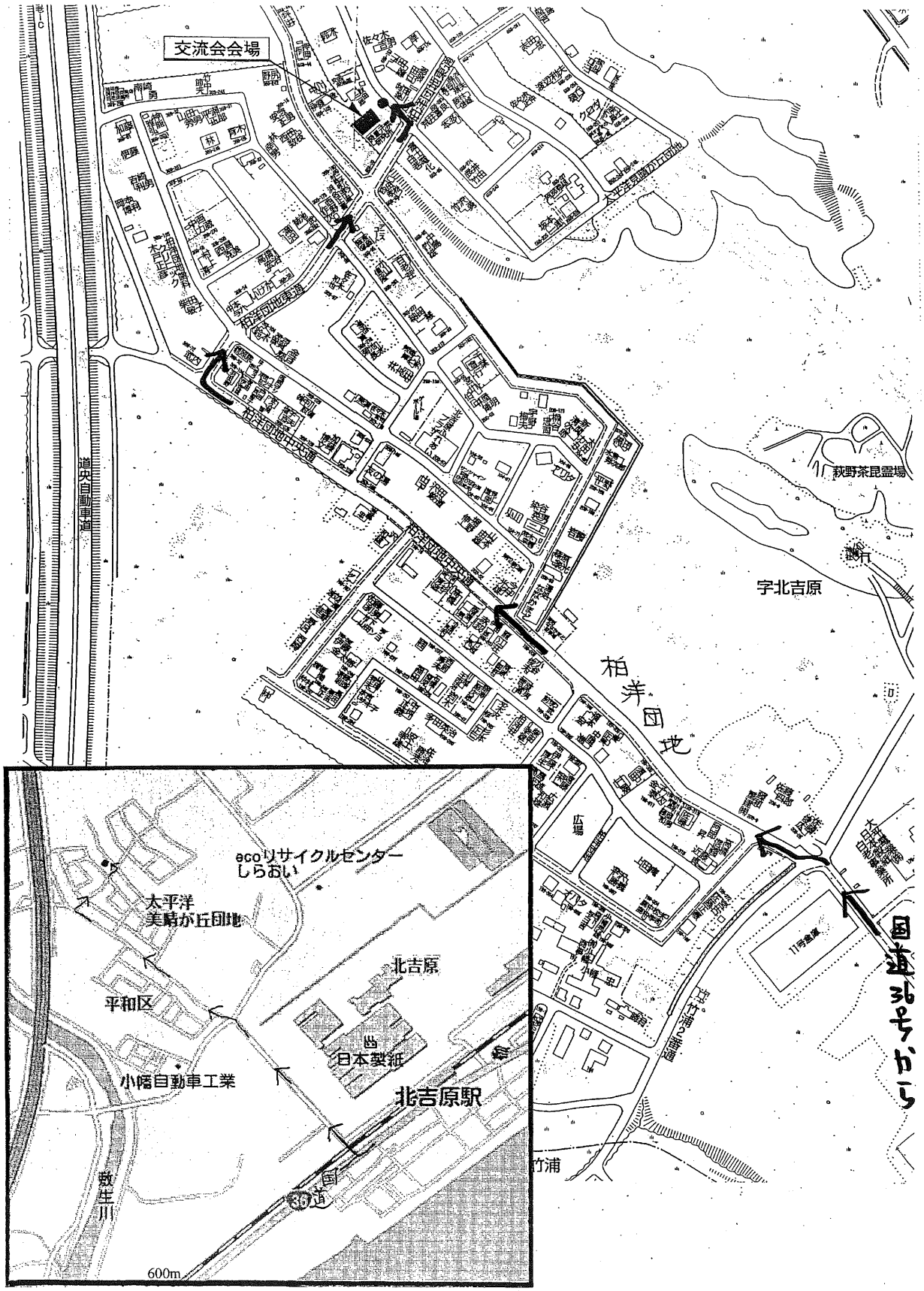
※床暖の大広間で宿泊が可能です。宿泊する方は、寝袋またはシーツ・枕を持参ください。

3　参加費

活動発表会のみ　　無料　（温泉に入られる方は、温泉入浴協力金200円を負担下さい）
新年会　　日帰りの方　　3,000円（温泉入浴協力金200円含む）
　　宿泊される方　3,500円（宿泊協力金、翌日の朝食含む）

4　申込み

1月22日（火）まで、メール trust@shiraoi.org または下記の電話へ連絡下さい。
会員及び一般の方は齊藤代表へ　0144-36-5753、0144-32-6727(夜間)
ログ活用研修会受講者は吉川理事へ 080-4508-3388 ﾒｰﾙ mittsu-333@i.softbank.jp


交流会会場
道央自動車道
柏洋団地
字北吉原
萩野茶昆霊場
国道356号から
ecoリサイクルセンター
しらおい
太平洋
美鈴が丘団地
北吉原
平和区
日本製紙
小幡自動車工業
北吉原駅
敷生川
国道356
600m